

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年11月26日

宮崎県知事 殿



提出者 宮崎市大塚町樋ノ口 1971

住 所 江夏商事株式会社

氏 名 代表取締役 岩崎和也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0985-51-2924

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	高鍋直営農場
事業場の所在地	宮崎県児湯郡高鍋町上江新山6651
事業の種類	畜産業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,100 t	全処理委託量	1,100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	448 t

4-14

自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	排出量	448 t	t
	(これまでに実施した取組) 季節に応じた敷料の積高の調整方法を検討し、発生量の抑制を計画する。		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	排出量	600 t	t

	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまで同様季節に応じた適切な敷料の積高について調整方法を計画立案すると共に、敷料の水分調整の検討を加えて発生量の抑制を計画する。</p> <p>但し、事業規模が大きくなるため排出量は増加を見込んでおります。</p>
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
3 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

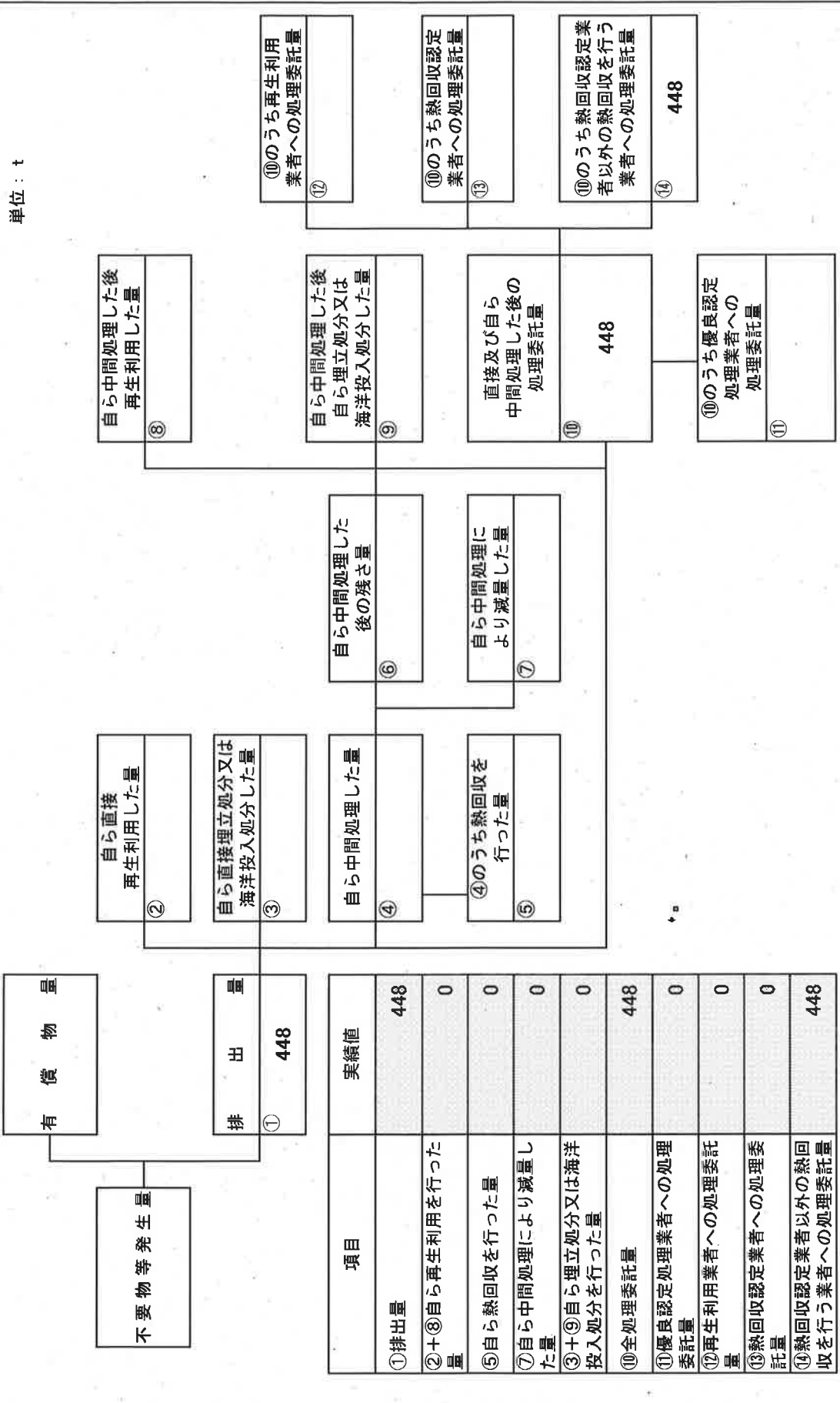
(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動物のふん尿)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書 集計表

(別紙)

単位：t

	産業廃棄物の種類	動物の糞尿										合計
①	排出量	448										448
②	自ら直接再生利用した量											0
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量											0
④	自ら中間処理した量											0
⑤	④のうち熱回収を行った量											0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量											0
⑦	自ら中間処理により減量した量											0
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量											0
⑨	自ら中間処理後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量											0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	448										448
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量											0
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量											0
⑬	⑩のうち熱回収認定処理業者への処理委託量											0
⑭	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	448										448

項目	実績値
①排出量	448
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	448
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	448

(この部分の入力は不要です)

※立米 (m³) は、トン (t) に換算の上、記入してください。(換算係数は、市ホームページ中「マニフェスト交付等の状況報告」に掲載してあります。
 ※「ガコン陶」は、「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」です。